



令和7年度第2回 大分県ツーリズム戦略推進会議

日時: 令和8年3月27日(金) 13時30分～
会場: 大分県庁本館2階正庁ホール



日本一のおんせん県おおいた  みりよく 味力も満載

**議事（１）令和7年度大分県ツーリズム
戦略関連事業実績（見込）**

ツーリズム推進基盤強化事業

○「日本版持続可能な観光ガイドライン」
(JSTS-D)※1ロゴマークの取得

・「大分県」として同ロゴマークを取得
(令和7年12月25日取得)



※1地方自治体やDMO等が、持続可能な観光地マネジメントを行うための観光指標であり、国際基準に準拠しており、観光地の持続可能性への取り組みをアピールすることで、観光地のブランド力の向上が期待されるもの。

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業

○ブランド推進による自然と共生した持続可能な発展

・祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会による調査研究の推進及び次世代への普及啓発

- ◆認定エリア※を対象とした自然環境調査 5件
- ◆次世代に向けた自然・文化体験事業 8件
- ◆環境保全団体等への助成 7件

※佐伯市宇目、竹田市、豊後大野市、延岡市、高千穂町、日之影町



小学生による生き物探し

・受入環境整備の支援

市有施設の改修等による滞在環境の改善や情報発信機能の強化

○実施施設：木浦名水館、緒環、道の駅原尻の滝 等



おおいたジオパーク推進事業

○魅力発信及び受入体制の整備

・ジオパークの認知度向上・誘客促進
ジオパーク巡回展の開催、各種イベント出店
普及啓発イベント参加者数 981名

・受入体制の整備支援
ジオガイドの養成、教育活動の推進
案内看板の改訂・修繕や拠点施設の整備

ジオパーク巡回展



地域商業・コミュニティ機能活性化推進事業

○観光に特化した地域課題に対して実施する取組への支援

・猛暑が続く夏季中、商店街が実施する観光客等へのおもてなしのために行う風鈴設置への支援
設置店舗：65店舗

・観光客増加を目指し、商店街等で実施する地域の農産物を使った商品開発やPR活動等に対し支援
新商品開発数：19件(13店舗)



店舗軒先の風鈴

チーズとトマトの
ミルフィーユカツ



農産物のPR活動

宿泊業経営力強化加速事業

○宿泊業経営力強化加速化事業費補助金

- ・宿泊事業者のDX導入やユニバーサルツーリズム対応施設整備に対する支援
- ・R7年度 7件採択(補助額16,749千円)
※うちバリアフリー施設改修2件



ホテルシステムPMS導入



バリアフリー施設改修

九州東の玄関口としての拠点化推進事業

○県内外を結ぶ交通ネットワークの充実に向けた取組

- ・航空会社やフェリー会社と連携を図りながら本県の魅力を発信し、利用促進を図った。
- ・R7.10、チェジュ航空が『大分—ソウル線』の毎日運行を約半年ぶりに再開
- ・タイガーエア台湾が大分県初となる『大分—台北線』の連続チャーター便を運行(R7.4～)
※台湾への直行便は8年ぶりに再開



MaaS推進事業

○九州MaaSとの連携による移動円滑化

- ・R6年に本格運用を開始した「九州MaaS」と連携し、デジタルチケットの造成や認知度の向上を図り、住民及び観光客の移動円滑化や移動需要の創出に取り組む。
- ・R7.10.26に大分駅前で開催された乗務員確保イベントに出展し、PR活動を実施
- ・「佐賀関グルメ1dayレール&バスきっぷ」を新たに造成



道路改良事業

○観光施設へのアクセス道路の整備

- ・R7年度は、富貴寺までのアクセス道路である県道新城山香線(梅木南工区)のうち約190mを部分供用するなど、道路整備を推進



新城山香線(梅木南工区)整備状況

地域の魅力を生かした多様なツーリズム推進事業

○アドベンチャーツーリズムガイドの育成

- ・インバウンド対応可能なガイドの掘り起こし及び育成のため、プロガイドのロールモデル紹介セミナーや2泊3日の実践研修会を開催



セミナー 9/10開催 | 19名参加



研修会 ①12/19～21 | 7名参加
②1/9～11 | 6名参加

観光データマーケティング推進事業

○データ取得・分析ツールの構築及び地域におけるマーケティング人材育成

- ・「おおいた観光データカタログ」の構築
県内の戦略的な事業推進のために構築(2/3公開)
- ・専門人材による研修の実施
各地域における人材の育成を目的として、観光庁登録専門家3名による研修会を1月と2月に実施(延べ200名以上が参加)



ログイン用
二次元コード

ツーリズム推進基盤強化事業（再掲）

○おおいたツーリズム大学

- ・次世代の観光地域づくりを担う人材育成と、観光関連事業者間のネットワークづくりに取り組む
- ・2025年度の受講生は14名
- ・座学講義を5回、視察研修を2回実施し、最終的にプレゼン形式で発表



視察研修等の様子

○ふるさとガイド連絡協議会

- ・ガイド及び地域の魅力を伝えるためのショート動画作成、沸騰大分【おんせん県おおいた観光チャンネル】(Youtube)に投稿予定(撮影市町村)竹田市、中津市、日田市、国東市
- ・ガイドの交流及びスキルアップを目的とした実地研修を開催(開催市町村)12/9 中津市、2/18 別府市(APU)、3/4 竹田市

宿泊業経営力強化加速事業（再掲）

○宿泊業の人材確保事業

- ・県内の高校及び支援学校の進路指導担当者を対象に、宿泊業の仕事内容や魅力を伝えるセミナー及び宿泊事業者と高校等の進路指導主任との情報交換会を実施
- 【7/3開催 参加事業数:10社】
- ・宿泊事業者と宿泊業に興味関心の高い人材とのマッチングを促進するため、宿泊業に特化した合同企業説明会を開催
- 【2/24開催 参加事業者数:22社】



情報交換会の様子



合同企業説明会チラシ

地域の魅力を生かした多様なツーリズム推進事業（再掲）

○アドベンチャーツーリズム(AT)の推進

- ・県内の魅力的なATコンテンツを取材し、ショート動画を制作
 - ・「オオイトおそと時間」のウェブサイトやInstagramアカウントでの発信のほか、インフルエンサーの活用やTikTokでのオーストラリア向け配信による多角的な情報発信
- 【制作した動画本数】10本

○サイクルツーリズムの推進

- ・「Cycling OITA」のウェブサイトやInstagramを活用し、まちのり層をターゲットに、県内で活躍するサイクルガイドやサイクリストに優しい施設等などの情報発信 【Instagram投稿本数】17本
- ・商談会での使用を想定し、県内のサイクリングコースを紹介するパンフレットの制作
- ・ツール・ド・九州、ツール・ド・佐伯(R7.10)に出展

○ユニバーサルツーリズムの推進

- ・宿泊業、観光案内所、観光協会等の観光関連事業者及び団体等を対象に、ユニバーサルツーリズムに対応するための人材育成研修を実施
- 【研修参加者数】日田市:22名 別府市:35名 大分市:39名

○ガストロノミーツーリズムの推進

- ・「大分サステナブル・ガストロノミー」のウェブサイトやInstagram等を活用し、地域特有の食や食文化等について生産者を取材した記事を情報発信
- 【制作記事の本数】10本 【取材先】糍屋本店(佐伯市)、グリーンファーム久住(竹田市)等

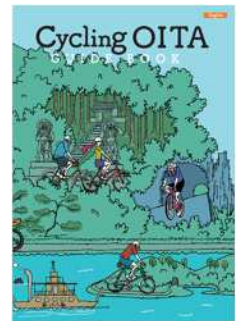
○地域の観光資源磨き上げ事業費補助金

- ・自然、歴史、食など本県の魅力的な地域資源を活かした持続可能な観光コンテンツの造成・磨き上げから、適時適切な誘客につながる販路開拓・情報発信を支援
- 【補助実施件数】25件
 【採択事業】「日本一の地熱発電と筑後川源流の「九重町」農村体験ツアー」等

ショート動画



パンフレット表紙



研修実施状況



掲載記事



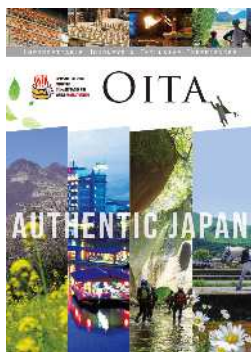
モニターツアー実施状況



インバウンド推進事業

○観光コンテンツの高付加価値化

- ・外国人アドバイザーによる県内100箇所の観光コンテンツの視察を実施、欧米豪市場からの旅行者が関心を示しやすい「地域に根差したストーリー」を持つコンテンツを選定し、磨き上げ
- ・選定したコンテンツを含むモデルコース作成（セールスツール整備）
- ・商品化に向けた事業者向けセミナー
- ・国内ランドオペレーターと県内事業者等との商談会・交流会やエクスカージョン



セールスツール

インバウンド向けPR動画

○CJPFアワード2026でのグランプリ受賞

- ・内閣府が主催するクールジャパン官民連携プラットフォーム(CJPF)のアワードでインバウンド向けPR動画が「ムービー部門」のグランプリを受賞
- ・PR動画は主に英語圏の視聴者にターゲットとして、アートという切り口で本県の隠れた魅力を没入感あるシネマティックな映像で制作



表彰式の様子



動画「the Hidden Gems in Oita」

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク活用プロモーション事業

○自然・文化体感スタンプラリーの開催

- ・ユネスコエコパークに登録された自然と文化のPR及び活用促進
- 実施期間: 令和7年7月21日～令和8年2月28日
- 対象プログラム: キャニオニング、トレッキング、藍染め等 全57種類



佐伯市藤河内溪谷のキャニオニング

○モデルコースの発信

- ・大分県内の登録エリア(佐伯市宇目・竹田市・豊後大野市)のモデルコースをパンフレットにまとめ発信
- コース数: 6コース(3市×2コース(日帰り・1泊2日))

阿蘇くじゅう国立公園満喫プロジェクト推進事業

○くじゅうの登山口をつなぐバスの運行

- ・阿蘇くじゅう国立公園の利用者の満足度を向上させるため、ミヤマキリシマ開花時期や紅葉の時期に各登山口を結ぶ周遊バスを運行

○Webサイト「オオイトおそと時間」

- ・県内の豊かな自然環境と魅力あるアウトドアアクティビティに関する情報発信
- (アウトドア体験等のWEB記事72件、お知らせ153件、スポット203件、事業者48件掲載)
- ・アウトドアガイド認証制度と連携して、制度紹介記事や登録ガイド情報を掲載





国内誘客総合推進事業

○温泉ガイドブック「おおいた湯めぐり」の制作

- ・別府や湯布院といった著名な温泉地に比べ、十分に魅力が知られていない温泉地を紹介するガイドブック(10,000部)を制作
- ・デジタルでもアクセスできるように、詳細情報を掲載したWEBページを制作
- ・名刺サイズのPRカード(7種)を作成



○「DIG OITA」による魅力発信

- ・会員登録者数4,855人 101団体 ※令和8年3月13日時点
- ・フォトコンテスト等によるSNSを活用した県民参加型の魅力発信(投稿件数:約11,000件)
- ・タレント、インフルエンサー等とタイアップした大分観光に関する情報発信やイベント開催

宇佐神宮御鎮座1300年誘客促進事業

○誘客キャンペーン

- ・関東:歴史・文化に関心が高い中高年齢層向けに、航空事業者(JAL・ANA)と連携した情報発信を実施
- ・関西:自家用車で移動するファミリー層向けに、さんふらわあ利用時の乗用車運賃割引等を実施
※9/26~10/12 大阪~別府航路(往復13,000円割引×1,371台)
- ・福岡:日帰り旅行のファミリー層向けに、シティ情報ふくおか9月号(8/28発売)で特集記事掲載
- ・全国:旅先の選択及び宿泊による県内周遊につなげるため、楽天トラベルでの専用ページ開設・宿泊割引等を実施
※7/22~10/18宿泊割引(2,000円×1,000枚)、ダイナミックパッケージ割引(20,000円×99枚)



○県内広域周遊への取組

- ・「宇佐神宮御鎮座1300年おおいたよりみちスタンプラリー」での周遊(9/1~11/30)
宇佐神宮ゆかりの地など(例:八幡奈多宮)県内18市町村50か所にチェックポイントを設置したデジタルスタンプラリー
参加者数 2,543人(うち県外1,098人)
- ・「大分ゆめバス」の催行(8/1~12/31)
県内主要駅等を発着地とし、宇佐神宮等の県内観光スポットを周遊するバスツアー
催行本数 103本、参加者数 2,760人
例)宇佐神宮と紅葉を巡るツアー、酒蔵巡りツアー 等



大阪・関西万博を契機とした誘客等促進事業

○大阪市内での情報発信【場所:KITTE大阪(大阪駅直結)】

- ・期間限定アンテナショップ(R7.8.1~8.31) 内容:県産品の販売、観光PRなど
 - ◎来店者数…約39,000人 ◎売上…約350万円
- ・おんせん県おおいた PRイベント(R7.8.23、24) ◎来場者数…約10,000人
 - 内容:観光PR、県産酒試飲、農産物の試食販売、サンリオブース、七島イワークショップなど



KITTEイベント



九州7県合同催事

○九州7県合同催事(R7.9.3~5)【場所:万博会場内】

- ・九州7県合同で観光、食のPRステージイベントを実施 ◎全体来場者数…約47,000人
- ・大分県ブース
 - ハーモニーランドブース ■進撃の日田ブース ■各種観光PR(宇佐神宮御鎮座1300年、地域資源素材集等)
 - 別府竹細工ワークショップ ■メタバース(BePPU City)体験 ■県産食材の販売
 - ◎大分県ブース来場者数…約17,000人 ◎売上…約360万円

○おおいた地域博覧会(R7.9.20、21)【場所:大分駅前広場】

- ・インバウンド等観光客向けに県内の地域資源をPRしたほか、県民による魅力再発見を促進
 - 《ステージ》・ハーモニーランドショー ・和太鼓演舞 等 《グルメ》・おおいた和牛 ・中津からあげ等
 - 《体験》・きつね面絵付け ・梅酒づくり 等 ◎来場者数…約27,000人 ◎売上…約200万円



おおいた地域博覧会

ツール・ド・九州推進事業

○開催に向けた機運醸成等

- ・事前PR事業
 - カウントダウンイベントを共同開催の宮崎県延岡市等、県内外で計26回
- ・広報・地域連携事業
 - スパークルおおいたを活用しPR動画を作成。CM放送や佐伯市商工会議所のサイネージでも発信。
- ・ツール・ド・佐伯(佐伯市主催)との連携
- ・2025年は第3回目の開催となり、大分県は大会初となる宮崎県との県境をまたぐ(延岡市→佐伯市)ステージレースを開催した。
 - (観客総数)10/10佐世保クリテリウム:約13,000人 10/11福岡ステージ:約33,000人
 - 10/12熊本ステージ:約16,000人 10/13宮崎・大分ステージ:約44,000人



<ファンライド(7月)>



<PR動画>



<YouTubeで全世界配信>



<フィニッシュ:佐伯市>



<イベント会場>



【戦略5. “選択”と“集中”による戦略的な誘客】

インバウンド推進事業（再掲）

○戦略パートナーを活用した誘客対策

- ・各市場に精通した旅行会社等を戦略パートナーとして配置シ、年間を通じて現地旅行会社向けのセールスや情報発信等を実施
- ・戦略国・地域 韓国、中国、香港、台湾、タイ、欧州、豪州、米国
- ・主な取組 県単独商談会・セミナー開催、旅行博出展、旅行会社招請等



旅行会社の招請

○セールスコール等によるツアー造成状況

- ・韓国: ミシェルトラベルなど 6社 13,296人
- ・台湾: 旅天下など 185本 34,370人
- ・中国: 上海春秋国際旅行社など 158本 5,045人
- ・香港: EGLツアーズなど 11社78本
- ・タイ: NISSIN TRAVELなど 25社 12,820人
- ・欧州: Newmarket Holidaysなど 16社 22本
- ・米国: ソニックトラベルなど 4社 260人
- ・豪州: Wendy Wu AUなど 13社 1,022人



多言語観光ホームページ

○SNS等を活用した海外への情報発信

- Instagram (英)、Facebook (英・繁・タイ) フォロワー 16.8万人
- Weibo, Wechat, Red (簡) フォロワー 31.8万人
- NAVERブログ (韓) フォロワー 1,500人
- 多言語観光ホームページの活用 (英、繁、簡、韓、タイ)

選ばれるおおいた情報発信推進事業

○ターゲットに応じた情報発信

(Webマガジン「edit Oita」(R7実績))

- ・大分の温泉+αな魅力を伝える記事の配信 (4~3月: 52本)
- ・Instagramリール動画強化による新規リーチ獲得



○PR会社を活用したパブリシティ (R7実績)

- ・大分の旬な話題を紹介するレター等の配信 (8本)
- ・メディア向けイベントの開催 (1回/年)
- ・大分への取材を斡旋するメディアコンタクトの実施 (107回/年)

広域ツーリズム推進事業

○九州横断(長崎・熊本・大分)連携

- ・航空事業者(ANA、JAL)と連携した周遊商品の造成(幹事県:長崎)

○せとうちエリアでのプロモーション

- ・マツダスタジアム観光PR (R7.6広島)
- ・えひめ・まつやま産業まつり観光PR (R7.11愛媛)



始球式の様子

○NEXCO西日本との連携

- ・お国自慢デジタルラリー2025 【県内スポット獲得者】1,064名
- ・ぎゅぎゅっと九州ドライブ満喫パス 【北部九州乗り放題2日間申込件数】30,009件



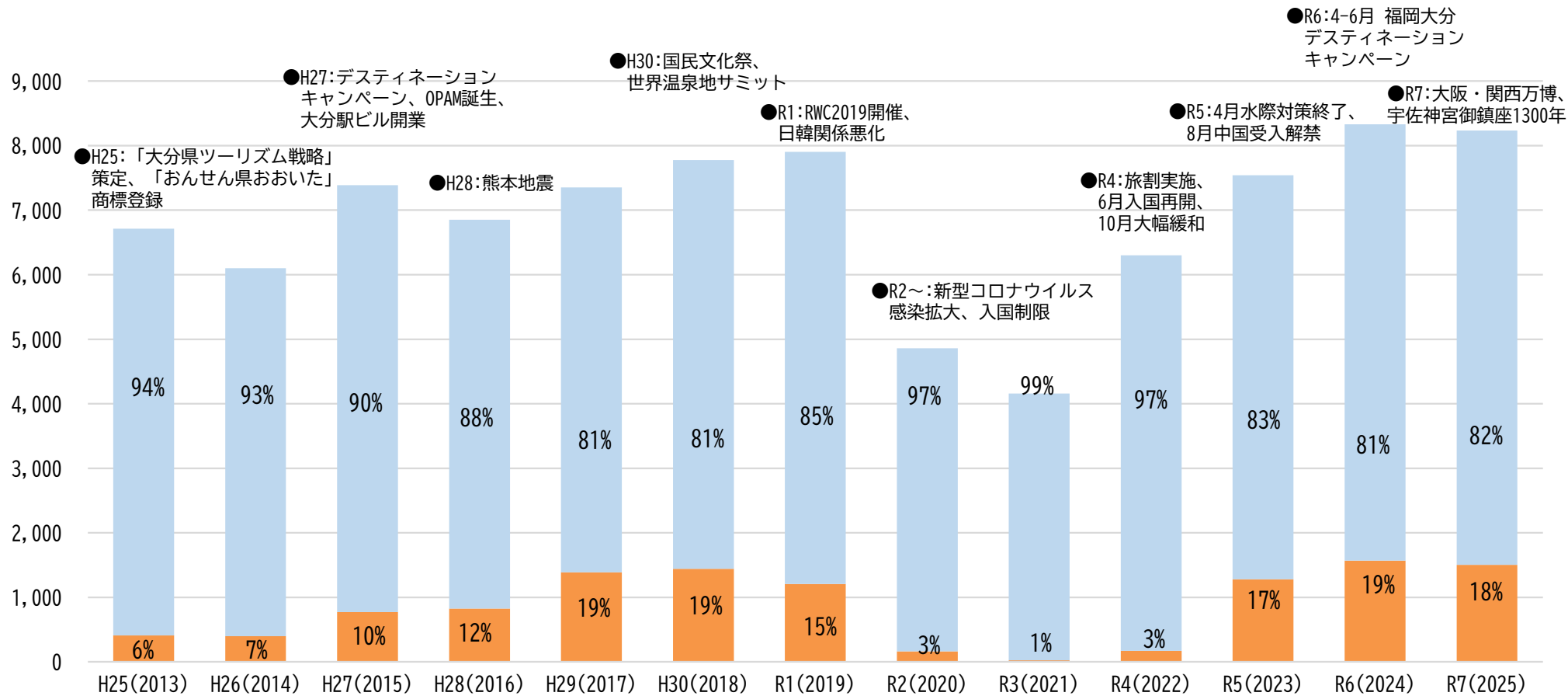
愛媛でのPR

**議事（２） 県内宿泊者数の動向
（観光庁 宿泊旅行統計調査）**



県内宿泊者数の動向

【宿泊者数の推移】（観光庁 宿泊旅行統計調査）（単位：千人）



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (速報)
日本人延べ宿泊客数 (千人)	6,301	5,701	6,614	6,025	5,963	6,332	6,696	4,698	4,135	6,132	6,259	6,759	6,727
外国人延べ宿泊客数 (千人)	410	400	774	827	1,387	1,442	1,207	162	25	170	1,281	1,568	1,505
合計 (千人)	6,711	6,101	7,388	6,852	7,350	7,774	7,903	4,860	4,160	6,302	7,540	8,328	8,232

**議事（3） 令和8年度当初予算及び
令和7年度2月補正予算**



令和8年度当初予算

(款) 商工費

(項) 観光費

(単位 千円)

事業名	令和8年度 当初予算額	左の財源内訳			(一般財源) 令和7年度 当初予算額	事業概要
		国庫支出金	その他	一般財源		
国内誘客総合推進事業費	145,083	83,781	繰入金 61,302	0	(0) 101,453	◎ 国内旅行者の誘客及び県内周遊を促進するため、観光公式サイトのリニューアルによるデジタルを中心とした情報発信の充実を図るとともに、主要圏域別の誘客イベントや商談会による販売促進、教育旅行等の団体誘客等の実施に要する経費 ○デジタルを中心とした情報発信の充実に関する経費 73,710 ◎ (うちデジタル広告の配信に要する経費) 10,000 ◎ (うち観光公式サイトのリニューアルに要する経費) 30,000 ○主要圏域別の誘客対策に要する経費 28,607 ○商談会による販売促進に要する経費 19,330 ○団体誘客の推進に要する経費 23,436
◎ 観光地域づくり共創事業費	39,322	39,322		0	(0) 0	◎ 観光消費の拡大を図るため、ツーリズムおおいたによる事業者への伴走支援、複数市町村に跨る商品造成に向けた観光関連事業者への支援に要する経費
宿泊業経営力強化加速化事業費	30,534	13,534	繰入金 17,000	0	(0) 32,275	◎ 宿泊事業者の経営力強化を加速するため、各事業者による業務省力化のための機器の導入、ユニバーサルツーリズムへの対応、スポットワークを活用した人材確保の支援に要する経費 ○宿泊業経営力強化加速化事業費補助 27,270 ◎ 旅を切り口とした働き手募集事業に要する経費 3,264
観光データマーケティング推進事業費	51,987	21,807	繰入金 30,180	0	(0) 52,671	◎ 客観的データに基づく戦略的な事業展開をより力強く進めるための県域のマーケティング基盤の強化に要する経費
観光実態調査事業費	7,835			7,835	(7,835) 7,835	◎ 観光振興戦略やマーケティング戦略に役立つ基礎データを得るための実態調査等の実施に要する経費 ○観光統計調査に要する経費 7,721 ○事業の執行に要する経費(職員旅費等) 114



令和8年度当初予算

(款) 商工費

(項) 観光費

(単位 千円)

目 観光企画調査費

事業名	令和8年度 当初予算額	左の財源内訳			(一般財源) 令和7年度 当初予算額	事業概要
		国庫支出金	その他	一般財源		
広域ツーリズム推進事業費	42,849	1,931		40,918	(40,918) 42,849	◎ 広域観光による誘客を図るため、本県単独の取組に加え、隣県や広域観光推進組織と連携した誘客対策の実施に要する経費 ○せとうちエリア連携誘客事業に要する経費 2,211 ○九州横断軸連携(大分・熊本・長崎)事業に要する経費 1,650 ○広域観光推進組織等との連携事業に要する負担金 38,577 ○事業の執行に要する経費(職員旅費等) 411
インバウンド推進事業費	268,443	136,463	繰入金 131,980	0	(0) 238,166	◎ 東アジアをはじめ、ASEAN諸国、欧州・豪州・米国からの観光誘客を図るため、国・地域ごとのニーズに応じた情報発信・誘客対策に要する経費 ○東アジア誘客促進に要する経費 63,166 ○ASEAN諸国誘客促進に要する経費 17,092 ○欧州・豪州・米国誘客促進に要する経費 98,546 ○観光コンテンツの高付加価値化に要する経費 11,445 ○情報発信等に要する経費 72,840 ◎(特) (うちデジタル広告等の配信に要する経費) 17,386 ○事業の執行に要する経費(職員旅費等) 5,354
地域の魅力を生かした多様なツーリズム推進事業費	55,005	23,871	繰入金 31,134	0	(0) 57,898	◎ 自然、文化、食などを生かした大分ならではの多様なツーリズムに関する効果的な情報発信や受入れ体制整備を通じた持続可能な観光地域づくりの促進に要する経費 ○アドベンチャーツーリズムの推進に要する経費 18,669 ○サイクルツーリズムの推進に要する経費 21,962 ○ガストロノミーツーリズムの推進に要する経費 4,566 ○グリーンツーリズムの推進に要する経費 5,156 ○ユニバーサルツーリズムの推進に要する経費 4,652
ツーリズム推進基盤強化事業費	63,750	25,155	繰入金 38,595	0	(0) 55,671	◎ 「日本一のおんせん県おおいたツーリズム戦略」の着実な推進とともに、県観光の牽引役であるツーリズムおおいたの観光地域づくり法人(DMO)としての基盤強化に要する経費 ○県版DMO機能の強化に要する経費 56,222 ○ツーリズム戦略推進会議の開催に要する経費 583 ○おもてなし人材の育成に要する経費 5,580 ○有識者会議の開催に要する経費 965 ○事業の執行に要する経費(職員旅費等) 400



事業名	7年度 2月補正予算案	事業概要
特 クールサマー in おおいた推進事業	91,796	酷暑が常態化した夏季におけるインバウンド誘客等を促進するため、涼しく過ごせる観光スポットのPRの実施や観光関連事業者が行う暑さを緩和する設備投資を支援する。 ・ 県内の冷涼スポットを紹介するガイドブックの作成 ・ ミストシャワー、スポットクーラー、ひさし等の設置に要する経費への助成

報告事項（１）宿泊税について

○大分県宿泊税について

1. 宿泊税制度

目的	「住んでよし、訪れてよしの持続可能なおんせん県おおいた」を実現するために必要な施策（地域資源の魅力の向上、旅行者の受入環境の充実等）に要する費用に充当することを目的とする。
課税	課税客体：県内の宿泊施設への宿泊行為 （宿泊施設：旅館業法上の旅館・ホテル・簡易宿所、住宅宿泊事業法上の施設（いわゆる民泊）） 納税義務者：宿泊者
税率	1人1泊あたりの宿泊料金（素泊まり料金）に応じて、以下のとおり。 ・5千円未満 100円／1人1泊 ・5千円以上2万円未満 200円／1人1泊 ・2万円以上10万円未満 500円／1人1泊 ・10万円以上 2,000円／1人1泊
免税点	なし
課税免除	教育政策上の視点や将来のリピーターに繋がる等の公益上の理由から、国内の教育旅行については免除 ※教育旅行：学校教育法第1条に規定する学校（大学を除く）や認定こども園等が実施する修学旅行や学校行事に伴う宿泊
徴収方法	特別徴収（宿泊事業者を特別徴収義務者とする。） 原則、毎月末日までに前月1日から末日までの宿泊税を申告・納入
罰則規定	特別徴収義務者の証票の掲示等に関する罪、帳簿の記載義務違反等に関する罪、納税管理人に係る不申告に関する過料
特別徴収報償金	特別徴収義務者の納期内納付を促進するため、事業者が納入した税額の2.5%を報償金として事業者へ交付する。

2. 宿泊税の運用

使途	大分県の観光振興に資する施策、宿泊税の徴収に要する経費
県と市町村の役割分担	県：広域的な施策、県内周遊の促進 ※宿泊の少ない地域への周遊促進等の施策については、県事業として実施 市町村：受入環境の整備等、基礎自治体として、地域の実情に即した施策
使途の見える化	納税者である宿泊者をはじめ、宿泊事業者、県民からの理解と信頼を得られるよう、県、市町村ともに使途等について明確化のうえ、それぞれ公表する。
検証体制	県は、宿泊税による事業の効果検証を、県内事業者や有識者等からなる外部委員による組織体を設置し、少なくとも年1回実施する。 市町村においても、検証体制を整えることが望ましい。
税収の管理	基金による管理（充当施策の明確化等）

○大分県宿泊税について

3. 宿泊税市町村交付金制度

対象事業	各地域の実情に即した観光振興に資する施策 ただし、新規に実施又は拡充する事業（既存施策への財源振替は不可）に限る。
交付額	宿泊税収から、適正な課税徴収や周知啓発等の宿泊税制度運用にかかる経費、災害等への危機管理のための共通経費を除いた額の7割とする。
額の算定方法	市町村ごとの額の算定方法については、市町村別の宿泊税収割合を基本に、市町村と協議の上決定する。
交付・報告	交付金は、半年ごとに交付するものとする。 交付金の充当事業については県に報告するものとする。

4. その他

特別徴収義務者 (宿泊事業者) への支援	制度導入に伴い、宿泊事業者が実施するレジシステムの改修や自動精算機の導入等にかかる経費については、県が補助制度を創設予定
周知・広報	納税者である宿泊者をはじめ、宿泊事業者や県民に理解を得られるよう、市町村と連携し、丁寧かつスピード感を持って周知・広報を行う。

5. 今後のスケジュール

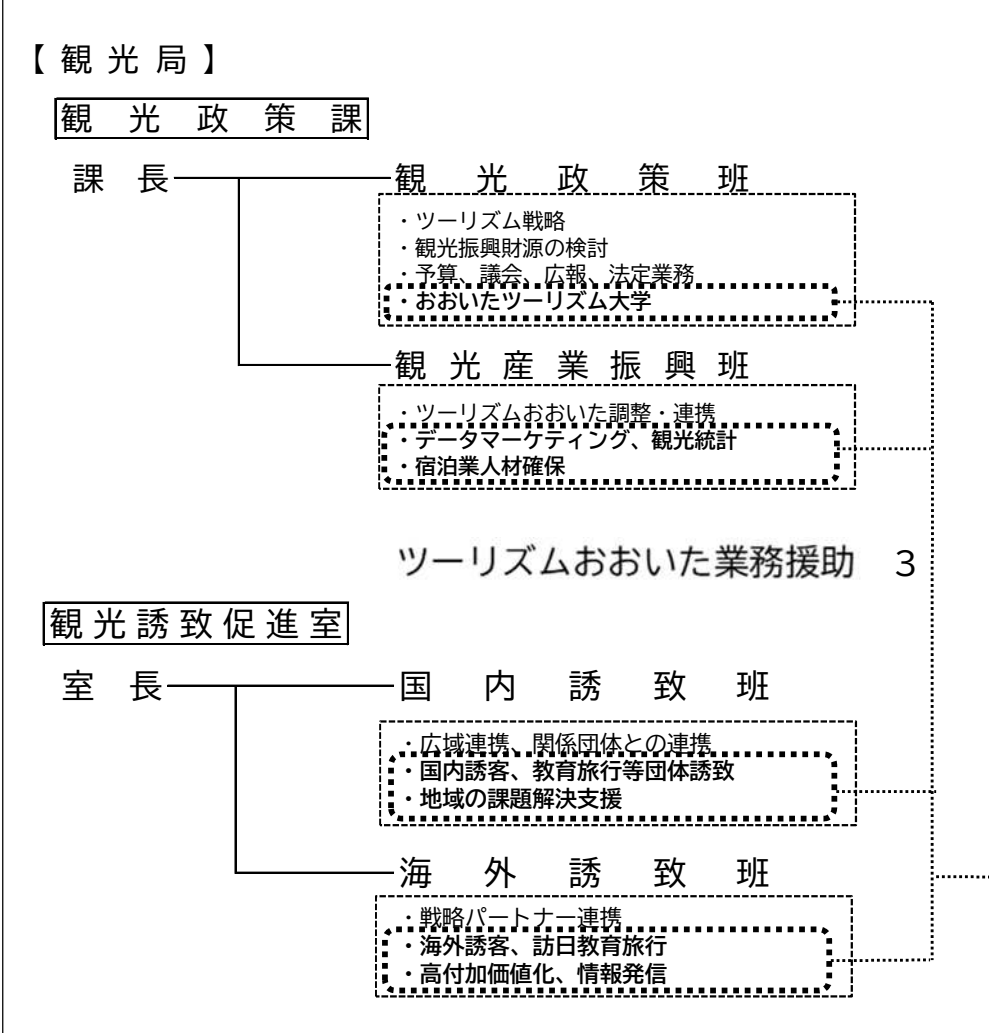
- ・ 3月下旬～ 大分県宿泊税（案）についてのパブリックコメント（募集期間：3月24日（火）～4月24日（金））
宿泊事業者との意見交換会（3月24日（火）～4月中旬にかけ県内15カ所で開催）
- ・ 6月 県議会令和8年第2回定例会への宿泊税条例案の提出を目指す。

報告事項（２）県観光の推進体制強化について

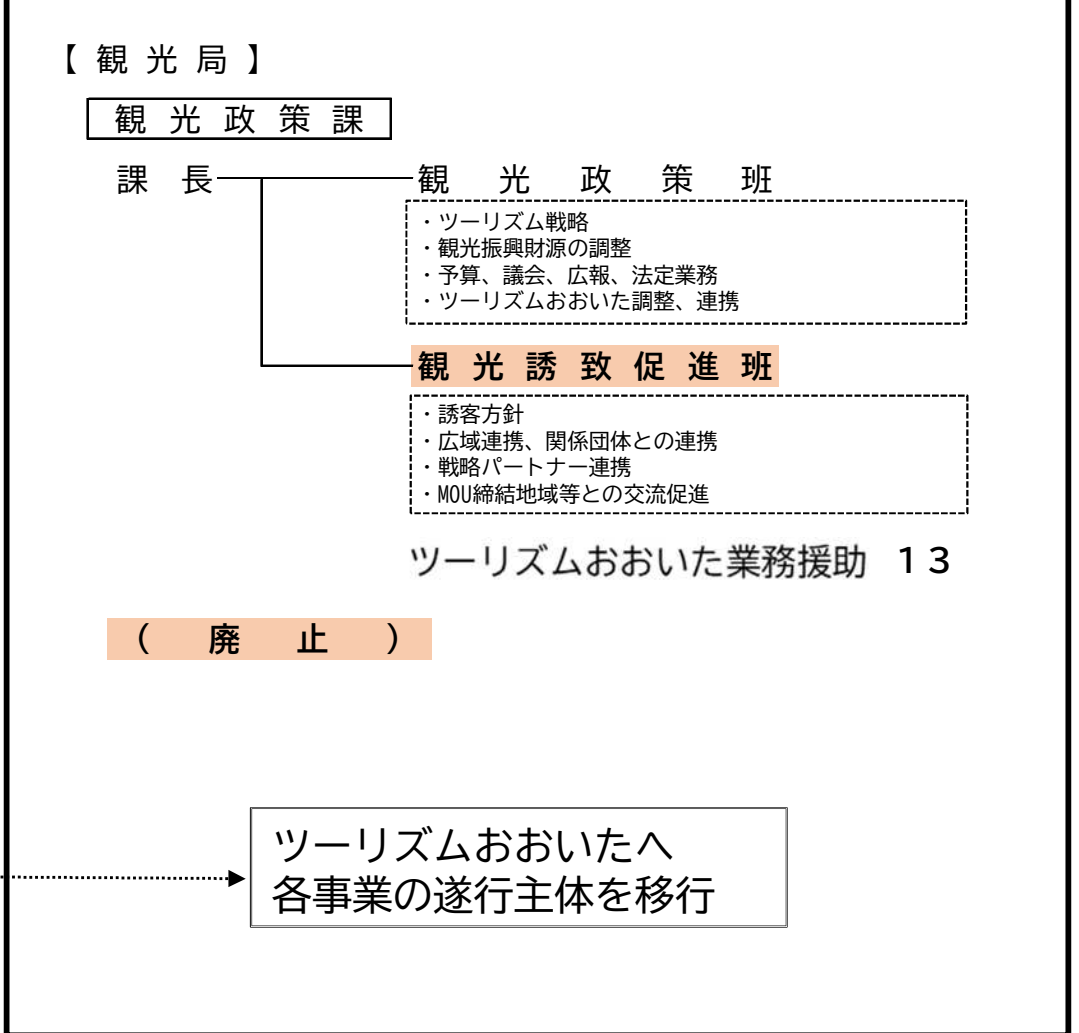
世界に選ばれる観光県の実現に向けた官民一体の観光推進体制の再編 (「観光局」の改組)

世界に選ばれる持続可能な観光県を目指し、官民一体となった観光誘客活動等を展開するため、「観光誘致促進室」を発展的に解消し、ツーリズムおおいたへの業務援助職員を拡充するとともに、県観光局の政策立案・調整機能の更なる向上を図るなど、ツーリズムおおいたと一体となって観光推進体制を強化する。

現行(R7.4.1現在)



改正案



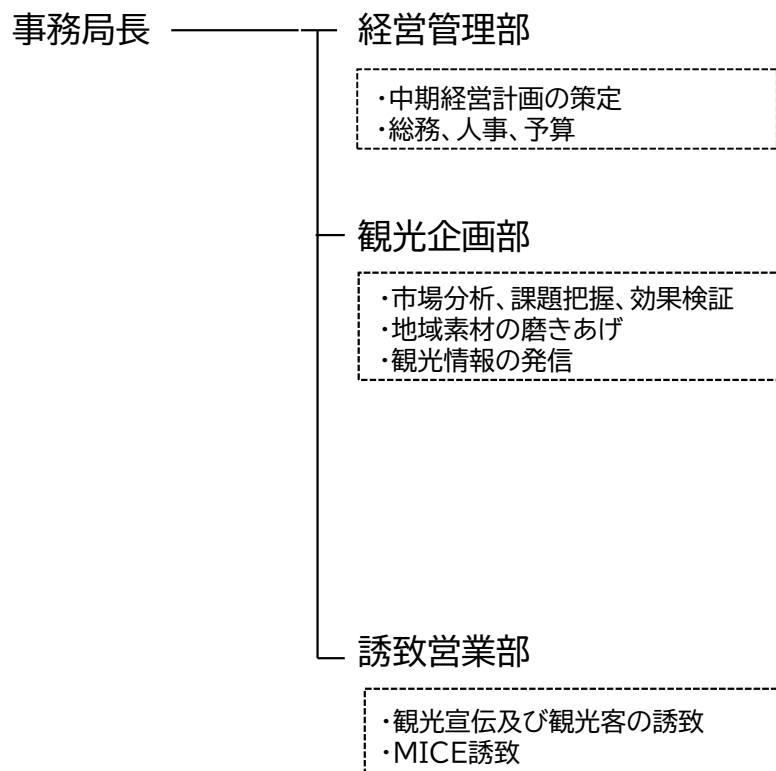
世界に選ばれる観光県の実現に向けた官民一体の観光推進体制の再編

(公益社団法人ツーリズムおおいたの改組)

県との役割分担を踏まえ、事業遂行機能の更なる向上を図るため、3つの機能(①マーケティング、②地域マネジメント、③プロモーション)を強化する。これらの機能を最大限に発揮するため、3つの部を統括し、有機的な連携を担う「DMO事業本部長」を設置する。

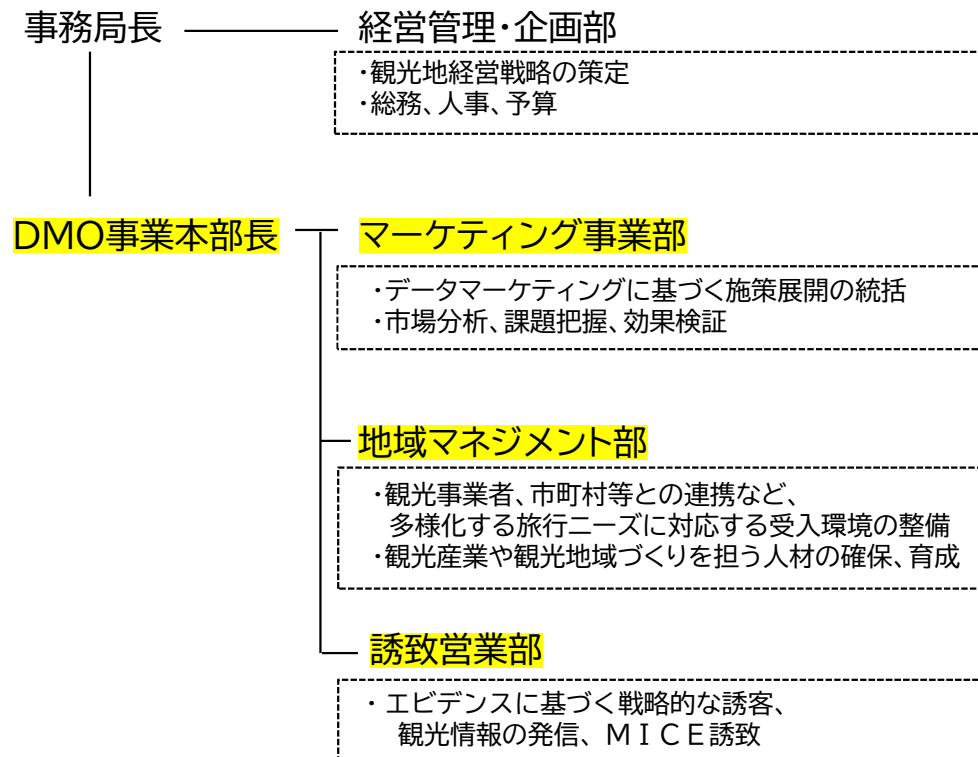
現行(R7.4.1現在)

【ツーリズムおおいた】



改正案

【ツーリズムおおいた】



公益社団法人ツーリズムおおいたの機能強化（概要）

ツーリズムおおいたの目指す姿

地域の「稼ぐ力」を引き出す観光地域づくりの牽引役として、民間視点の機動的な組織、地域に頼られ求められる組織、自ら考え行動する組織

機能強化

マーケティング機能

データを活用した市場分析などに基づく課題把握及び効果検証



地域マネジメント機能

観光関係者との連携強化による観光地域づくりの伴走支援



マーケティングの知見を有する専門人材
(DMO事業本部長)

プロモーション機能

旅行業者向けセールスと旅行者向け情報発信を一体的に実施

